

氏名	田村佳士枝	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	小児看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	1987年聖路加看護大学看護学科、2003年聖路加看護大学修士課程				
経歴	1993年千葉県立衛生短期大学講師、2003年聖路加看護大学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年同大学准教授				
所属学会(役職)	日本小児看護学会、日本看護科学学会、日本小児保健学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会科研費基盤研究(c)	親のケア能力・子どものセルフケア能力獲得を支援する看護師の教育指導力の定着・評価		研究代表者：添田啓子 研究分担者：田村佳士枝	2019年度～ 2021年度	
2	日本学術振興会科研費基盤研究(c)	骨延長術を受ける子どもの意思決定過程および術後のとりくみに関わる親の認識		研究代表者：田村佳士枝	2020年度～ 2022年度	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	小児看護学Ⅰ		2コマ	1年次生を対象に乳児期および学童期の成長発達、生活、健康課題と看護について講義を行った。対象理解のための事前学習ワークシートを課題として自己学習を進めるとともに、授業中に健康逸脱について課題を提示し、グループ討議による参加型授業を行った。		
2	小児看護学Ⅱ		2コマ	2年次生を対象に「手術を受ける子どもと家族の看護」2コマを担当した。小児専門病院看護師長の方にゲストスピーカーとして、近年の周手術期看護の特徴を講義いただいた。授業後の課題を提示し、知識の定着を促進した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	小児看護学Ⅲ		15コマ	小児看護事例を中心とするPBLテュートリアル科目で、2グループを担当した。オンラインでのPBLとなったが、課題検討が進むようにファシリテートを行い、最終発表会でも意見交換が進むように支援を行った。		
2	小児看護学Ⅳ	○	15コマ	小児看護技術の修得を目的とした授業であり、人数調整を図り、学内実習を各自4回および遠隔での動画視聴によるワークシートを活用した看護技術の理解を促進した。後半は自己練習期間を設け、技術テストにて事例に即した技術修得を促進した。		

3	子どもと家族のヘルスプロモーション		8コマ	4年次生を対象に小児専門病院における外来部門での実践事例について、オンラインにて学習を支援し、インタビューおよびそのまとめの指導を行った。
4	卒業研究拡大ゼミ		8コマ	小児看護学領域の卒研担当学生と教員が参加してオンラインで開催した。研究の進捗状況に沿って、研究テーマ・目的、結果を2回にわたって開催し、共有の場として活用した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学実習		2021.8～2021.12	3年生27名を5クール10週間にわたり担当した。学生一人当たり、2日間の臨地実習および6日間の遠隔実習にて事例展開を実施した。臨地に向けては、PCR検査の提出に向けた調整を行った。
2	IPW実習		2021.10	各学科の4年生6名を担当し、オンライン実習を行った。紙上事例をもとに、インタビュー情報も加えて検討し、主体的な展開を促進した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4～2022.1	主指導	4名 副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	こどもセルフケア理論導入のための事例検討会	埼玉県立大学および埼玉県立小児医療センター	県内小児専門病院におけるこどもセルフケア理論導入のために、2回の事例検討会に参加し、討議を推進した。	2021.10～2022.3
2	公開講座 看護研究セミナー	看護学科教員	県内看護職の研究活動を支援することを目的に、4回のミニ講義と参加者の研究を題材としたグループ討議を行った。	2021.7～2021.12
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本小児看護学会第31回学術集会	企画委員プログラム委員長 実行委員		2021.4～2021.7
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	東武よみうり新聞	県立大学発！耳より健康情報 「赤ちゃんの股関節脱臼を防ぎましょう」		2021.9.20
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会員の補佐 入試実施部会員が推進するオープンキャンパスおよび大学パンフレット等広報に関する業務を役割担当し実施した。		2021.4～2022.3
2	学科等における委員会等	実習計画調整会議 ・実習施設の窓口(調整担当)にて、4月当初の公文書依頼や感染状況における実習受け入れの確認や感染症関連書類の作成、検査の調整を実施した。 ・実習施設の実習調整会議の資料作成および会議参加や実習計画のとりまとめを行った。 ・後期実習科目4領域における学生配置案の作成および実習全体オリエンテーションに向けた感染対策の検討および準備を推進した。 ・1月開催の臨地実習指導者研修会企画の推進および公文書作成、参加者登録手続きの準備・実施後の評価・総括を担当した。		2021.4～2022.3

3	学生支援	4年編入生担任 4月当初より個別面談、進路相談、学習支援を実施した。また、国試対策担当 教員と業務を分担し、模擬試験対応や集合日の調整などを行った。 県立病院自己推薦者の個別面接練習 自己推薦希望者へ面接練習会後の個別面接練習および指導を実施した。	2021.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	道学教師理事長賞	埼玉県立大学	2022年3月
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		